

# 活動の歩み

Environmental Report 2005



## History of Environmental Activities

1968  
}  
1979

1968年の製薬協設立と同時に、「周辺技術連絡会」を立ち上げ、工場周辺の環境問題（特に排水問題）に対する技術検討を開始しました。その後「工場排水規制処置検討会」「環境対策検討会」と発展、技術的検討に留まらず関係官庁や会員相互の情報交換を行い、環境対策の推進に寄与してきました。

1996  
}  
1999

1996年に「環境委員会」を設立。専門部会活動を通して地球環境問題に対して体系的な取り組みを行うこととしました。  
1999年「製薬協環境自主行動指針」を作成し、製薬企業の環境問題への取り組み姿勢を明示しました。  
1999年「製薬協環境報告書」を発刊。情報公開に努めました。

2001  
}  
2002

当初、5部会で発足した専門部会を4部会に再編、活動の効率化を図りました。  
（環境マネジメント部会・省資源廃棄物対策部会・省エネ温暖化防止部会・化学物質管理部会）  
タイムリーに重要事項、緊急事項の検討の場として「企画会議」を新設しました。  
2002年4月に委員会名称を「環境安全委員会」に改称。労働安全衛生に関する課題への取り組みを開始しました。これに伴い、環境マネジメント部会を環境安全マネジメント部会に再編成しました。  
また、専門部会の各部会に、ワーキンググループを立ち上げ諸課題に効率的に対応できる体制としました。中期的な課題と思われる事項は、研究会を組織しました。

2003  
}  
2005

委員会活動の合理化、効率化を進めるために、連絡担当者会社を委員会社への統合、会議体の簡素化等、組織の重層構造を廃しスリムでフランクな体制で活動しています。

## 編集後記

製薬企業が直面する多様で複雑な環境問題への対応は、製薬協会会員会社の協働はもとより外部関係者との相互理解と協力がなければ解決できないことがあまりにも多くあります。環境活動を効率的に継続しレベルアップを図るためには、私たちの活動の意思決定のプロセスや目標、現状が多くの関係者に共有され、共通の認識のなかで役割を分担していくことが重要だと考えています。この報告書は、このような相互コミュニケーションを深めるツ-

ルとして役立てたいとの思いから作成して今年で7号目となります。できるだけ多くの方にお読み頂き、環境安全委員会の活動に、忌憚の無いご意見、ご要望を頂ければ幸いです。

報告書の編集に際しては、データ集計や原稿作成を担当頂いた専門部会委員の皆様や記事掲載に快く承諾頂きました外部関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。